

留 学 報 告 書

記入日：2020年2月14日

所属（学科）	農学部 生命科学科
留学先（国名）	タイ王国
留学先（大学名）	シーナカリンウィロート大学
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	3年生
留学先での所属学部	農産物革新・技術学部
帰国年月日	2019年12月23日
明治大学卒業予定年	2021年3月

留学費用項目	現地通貨（THB）	日本円	備考
授業料（負担型の場合）	なし	円	
宿舍費	5000THB	18500円	
食費	20000THB	74000円	1ヵ月約14800円
図書費・学用品費	3000THB	11000円	
被服費	3000THB	11000円	
医療費		円	
保険費		円	
渡航旅費	13500THB	50000円	
雑費	10000THB	37000円	
その他	14000THB	52000円	
合計	68500THB	253500円	

渡航情報	
渡航費用	往路：20000 円 復路：30000 円 合計：50000 円
渡航に際して利用した旅行会社や、ガイドブックを教えてください。	
HIS	
滞在携帯関連	
(1) 種類 (留学中の滞在先について) (例：アパート、大学の宿舎など)	
大学内 学生寮	
(2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 5 人)	
(3) 住居を探した方法	
留学担当教員からの勧め、案内	
(4) 感想 (滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)	
オンラックキャンパスでは交通の便上学園外のアパートから学校に通うことが事実上不可能に近いので、寮に入ることが賢明だと思われます。5 人部屋で同居人がいることもありますが、基本は一人でした。5 人部屋を一人で使っていたので広くて快適でした	
現地情報	
(1) 現地で病院にかかったことはありますか。大学の医務室／診療所で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用した： <input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった	
(2) 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
友人(現地)もしくは友人のご両親が身元引受をしてくれた。留学担当教員がすべて手配していたため、緊急時は友人のご両親から担当教員に連絡がいくようになっていた。	
(3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか。その際、どのように対処しましたか。	
学外に出るときは誰かしら友人がついており、友人の情報をもとに行動していた。	

<p>(4) PC, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか。</p> <p>(例: 寮のインターネットが不安定で, 1週間に1度は全く繋がらない時があった。街にあるカフェではWi-Fi 接続が可能だった)</p>
<p>主に学内の Wi-Fi を利用していた。外出時は1か月契約の SIM カードにて携帯を利用していた。</p>
<p>(5) 現地での資金調達はどのようにして行いましたか。</p> <p>(例: 現地に銀行口座を開設し, 日本の親から送金してもらい, クレジットカードも併用していた)</p>
<p>VISA(DEBIT)カードで ATM からお金を引き出していた。</p>
<p>(6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p>
<p>常備薬(タイの市販薬は成分の含有量が日本のものと比べ多いことがあるため)</p>
<p>(7) 【授業料負担型の方】 授業料支払い方法, 支払い時期について教えてください。</p> <p>(例: 渡航前に自分のクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った)</p>

学習・研究活動についてのレポート (履修した科目ごとに記入してください)	
(1) 留学先で取得した単位数合計	(2) 本学で認定された単位数合計
12 単位	単位
(2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。	
履修した授業科目名 (留学先大学言語 or 英語)	履修した授業科目名 (日本語)
Principle of Cooking	料理の原則
単位数	2
授業形態	実技教科 (講義形式・ディスカッションなど)
授業時間数	1週間に120分が1回
授業内容	タイの伝統的料理や、気候、生産物に合わせた調理法などを学ぶ。
試験・課題など	記述式テストあり。
感想 (自由記入)	スパイスの文化が日本には薄いので、料理全般にスパイスを加える料理法はとても面白かったです。また野菜の形や色が日本のものとは違ったり様々な発見がありました。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Home Food Preservation	家庭保存食の学習と実習
単位数	2
授業形態	講義・実技形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	食料の加工や発酵による保存期間の延長
試験・課題など	筆記試験あり実技による試験もあり。またプレゼンテーション課題が多く出る。
感想（自由記入）	発酵を用いた加工を多く学んだ。また食品添加物などをうまく利用することも学んだ。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Basic tied dyeing	絞り染め基礎講座
単位数	2
授業形態	ディスカッション・実技形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	タイの伝統的な絞り染めをその歴史の学習と染色液の調合を学ぶ
試験・課題など	実践課題とプレゼンテーション課題がたくさん出た。筆記試験はなし
感想（自由記入）	科学的に染色について学ぶことができた。また染色だけでなく、特産品としてビジネスを行うことを念頭に置いた製作なども行った。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Yeast Biotechnology	酵母・微生物工学
単位数	聴講生だったためなし
授業形態	ディスカッション形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	酵母の産業的利用や基礎実験などを行った。
試験・課題など	英語の試験を個別に用意してもらった。
感想（自由記入）	基本的にディスカッション形式で資料を渡され、様々な酵母に関する研究について議論を行った。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Independent Study	自主学习・自由研究
単位数	2
授業形態	自主学习（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に 分が 回
授業内容	
試験・課題など	これまで自分が学んできたことをプレゼンテーション形式で発表する。
感想（自由記入）	私はタイ語学習についての発表をすべてタイ語で行った。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Microbial Biotechnology	微生物工学実験
単位数	3
授業形態	実験・講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に 180 分が 2 回
授業内容	微生物の生体機能と実験法の学習
試験・課題など	実験レポート、プレゼンテーション課題あり、筆記試験は全記述形式。
感想（自由記入）	一番大変だった。特に試験は 3 時間全記述形式のため根気が必要であるが、一番ためになったと思う。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Bioinformatics	バイオインフォマティクス
単位数	1
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回
授業内容	遺伝子工学実験の学習や情報収集方法の学習
試験・課題など	実習課題、筆記試験あり
感想（自由記入）	プライマー作成や目的個体の検索方法など実験に役立つ情報収集能力についての学習を行うことができた。

●留学中の一週間のスケジュール(例)

※授業だけでなく課外活動・交流会・自習・その他自由時間の活用についても具体的にご回答ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝							
午前 中			Food Biotechnology	Yeast Biotechnology	Principle ofCooking	ショッピ ング	散歩
	Bioinformatics	Microbial Biotechnology					
午後	Home Food Preservation		Microbial Biotechnology	Biochemistry	BasicTied Dyeing	バンコク 旅行	カフェ巡 り
		研究室		研究室			
夜	タイ語学習	タイ語学習	タイ語学習	タイ語学習	タイ語学習		

●留学体験記

以下の項目について、それぞれ 200 字程度で具体的にご回答ください。※文章は「です・ます」体に統一。

準備しておけばよかった事	思っていたより、英語ができる友人が少なかったために、タイ語の勉強をもう少し入念にしていけばよかったと思いました。英語はしゃべることが困難でも聞いて理解することができれば困ることはないので、英語での日常会話を理解することが困難な人は耳を鍛える練習をしていた方が良いとは思いました。
留学先を選んだ理由	もともと海外に興味があり、環境問題についてそれぞれの国がどのような技術を用いて対策をしているのか、また実際にその国ではどのような環境下で、どのように生活をしているのかを知りたい位と思いました。タイでは急激な経済発展により、環境汚染が深刻化していることを知り、実際にどのような状況になっているのかをこの目で確かめることを目的としていました。食文化や特産品産業についても環境と結びついていると考えて、学習する予定で行きました。
大学・学生の雰囲気	オンカラックは自然豊かなキャンパスで、学園内がとても広かったため、移動手段がオープンバスか友人のバイクに乗せてもらい、移動していました。みんな普段は穏やかですが、お祭りごとが大好きで、夕方時々太鼓など楽器を用いてダンスを踊ったりしていました。

<p>寮の雰囲気</p>	<p>守衛さんは一切英語が話せなかったので何かを頼むときには翻訳機を介して会話をしていました。いつも笑顔で温かく迎え入れてくださったのでうれしかったです。寮の部屋はたまに大量の虫またはヤモリが入り込むこと以外はとても快適に過ごすことができました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>みんなとても親切です。英語が話せない友達でも身振り手振り翻訳機などを用いて交流をしました。特にオンカラックでは英語で日常会話をできる友人は 1 割いるかどうか程度だったので、私もタイ語を精一杯勉強し、最終的には翻訳機なしでも何となくしゃべれる程度にはなりました。</p>
<p>困った事・大変だった事</p>	<p>地方への留学であったため、移動に遠距離バスを使わなければならなかったのですが、一切英語が通じなかったため、タイ語で会話せざるを得ませんでした。また首都バンコクまで赴くのに最低 2 時間かかっていたことは少し不便に感じていました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は微生物系のバイオサイエンスを学習することが目的でしたので、シーナカリンウィロート大学の学習はとてもあっていたと思われます。また、専門教科だけでなく、タイ語の学習にも力を入れていました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>ディスカッションレポートが大半でした。そのため、英語で自分の考えを述べるということをよくしたと思います。また、時々プレゼンテーション課題が出されるため、調べ学習などもたくさん行っていました。もともとがタイ語の講義をいくつかとっていましたが、教員に直接交渉し、英語で試験を行いました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>BITEC というバイオテクノロジーの開発をしている企業の展示会に連れて行ってもらったりしました。旅行は友人に計画してもらったり交通の便の関係上機会は少なかったかもしれませんがとても楽しめました。</p>